

# 沼津市立病院内科専門医研修プログラム (沼津市立病院)

## 1 はじめに

当プログラムは、沼津市立病院、静岡がんセンター、富士宮市立病院、静岡医療センター、伊東市民病院、北里大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、浜松医科大学医学部附属病院で構成されています。県内の各病院がそれぞれに特色、専門性（サブスペシャリティ）を有する、首都圏とは異なる地方都市ならではの研修プログラムであるとともに、近隣大学病院での多彩な症例も経験できるプログラムとなっています。

プログラム統括責任者 沼津市立病院 副院長 伊藤 浩嗣

## 2 目的

本プログラムは、静岡県東部の急性期病院である沼津市立病院を基幹施設とし、駿東田方医療圏、富士医療圏、熱海伊東医療圏の連携施設及び近隣の大学病院での内科専門研修を行うことにより、静岡県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的医療を行えるようトレーニングすることを目標とします。

また、静岡県東部の医療圏に限定せず、超高齢社会を迎えた日本を支える内科専門医として、高い倫理観を持ち、最新の標準的医療を実践し、安全な医療を心がけ、プロフェッショナリズムに基づく医療を提供し、チーム医療を円滑に運営できる研修を行います。

## 3 研修病院群

### (1) 専門研修基幹施設

沼津市立病院

### (2) 専門研修連携施設

静岡県立静岡がんセンター、富士宮市立病院、独立行政法人国立病院機構静岡医療センター、伊東市民病院、北里大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、浜松医科大学医学部附属病院

## 4 専攻医受入数

3名

## 5 研修期間

3年間

## 6 研修計画（例）

### 1) 専門研修プログラムの概要

- ・専攻医の希望に沿って研修を行います。
- ・専攻医1年目及び2年目の9月・3月に研修状況を確認し、その後の研修内容を決定します。
- ・専攻医3年目は症例不足領域の研修または希望領域の研修を行います。
- ・専攻医1人あたりの受持ち患者数は、受持ち患者の重症度などを加味して、担当指導医、Subspecialty 上級医の判断で決定します。
- ・既に専攻を決めた医師やまだ決めかねている医師双方に柔軟に対応できるプログラムです。

専攻医	4月		10月	
1年目	①	下記2)の研修領域から1～6領域を選択	②	下記2)または3)の研修領域から①で未研修を含めた1～6領域を選択
2年目	③	下記2)または3)の研修領域から①・②で未研修を含めた1～6領域を選択	④	下記2)または3)の研修領域から①・②・③で未研修を含めた1～6領域を選択
3年目	⑤	症例不足領域の研修または希望領域	⑥	症例不足領域の研修または希望領域

## 2) 基幹施設の研修について

- ・総合内科Ⅰ（一般）、総合内科Ⅱ（高齢者）、総合内科Ⅲ（腫瘍）、アレルギー、感染症の領域は、全期間を通じて研修を行います。
- ・下記の領域は最低1ヶ月以上の研修を行います。

研修領域	至適研修期間
消化器	1～6ヶ月
呼吸器	1～6ヶ月
循環器	1～6ヶ月
内分泌・代謝	1～2ヶ月
膠原病・神経	1～2ヶ月
救急	1～3ヶ月
地域医療	1～2ヶ月

## 3) 連携施設の研修について

- ・原則、1施設3ヶ月以上、合計1年以上の研修を行います。

区分	施設名	研修領域	研修年次
連携施設	静岡がんセンター	消化器、内視鏡、呼吸器、血液、感染症	2～3年次
	富士宮市立病院	総合内科、消化器、循環器、腎臓、アレルギー、膠原病、救急	1～3年次
	静岡医療センター	消化器、循環器、神経、膠原病	1～3年次
	伊東市民病院	総合内科、消化器、循環器、神経、感染症、救急	1～3年次
	北里大学病院	総合内科、消化器、循環器、腎臓、呼吸器、血液、神経、膠原病、感染症、救急	1～3年次
	聖マリアンナ医科大学病院	総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症、救急	1～3年次
	浜松医科大学医学部附属病院	消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、膠原病、救急	1～3年次

## 7 問い合わせ先

沼津市立病院 臨床研修センター（病院管理課庶務係）

〒410-0302 静岡県沼津市東椎路字春ノ木550番地

電話：055-924-5100／E-mail：byoin-so@city.numazu.lg.jp